

いわき民報

発行所 石城郡湯本町
社址 石城郡湯本町
電話 二二二番
編集長 松田四郎
発行所 湯本町
電話 二二二番

石城農民の高意

早場米供出割當突破

期日の卅一日午後から一氣に

懸念された石城の早場米は締切の三十一日正午からの供出物割當に割當の一千六百俵を突破する事三十二十七俵で石城農民の供出意欲を見事發揮した、町村別供出数左の通り

(単位俵)

湯本町では来る十日から明春三ヶ月迄国民学校に、母親學校を開設する、定員五十名で毎月十日

村一〇、勿来一三、上速野は町當局又は學校當局へ申込村一五、高久村六一、鹿島村もよいとある

住宅難緩和へ

營團第二次建設六十戸決定さる

住宅難では住宅不足を緩和するに努め、戦災復興院から引受けた庶民住宅として第二次建設割當六十戸の新築を決定した、平市の割當は従来とは異なり木材、釘、セメント等その他資材が裏付られ、さらに半額が國庫補助と云ふ好条件に恵まれて居り、居るは案外はかどり、十二月下旬には引揚者及び戦災者が轉入暖かな冬將軍を迎へることが出来ることになり期待するところ大なるものがある

東京封切先に立ち

石城民主人民聯盟が

石城民主人民聯盟では石城のついで、石城十六民族を召集して年一回のメッセで開演する、メッセの一九四五年度大会の開催を二月七日から東東京中央劇場で封切する、メッセの封切先として三日午後八時から一回、四日前八時から十一時迄一回、同日午後八時から十一時迄一回、平市平館で公開する、各方面から期待されてゐる

秋刀魚八千貫水揚げ

中ノ作港へ第二徳榮丸が

秋刀魚漁となり、まきに江名港に初水揚げをみたが、一日朝今度は中ノ作港へ初水揚げをみた、右は同港所産第二徳榮丸が歸港したもので、總數八千貫の大量、直に平市内及び郡下に配給され、市民の食糧を賑はした

湯本準備會

湯本町では憲法発布記念行事大運動會について、一日午前九時から町内各長區を臨時集會して選手の方法等を決定した

瀧口氏美擧

瀧口氏の橋架設、平間の橋架設損から高夏井方面への車馬は月見町から北白土へ通ずる道路を迂回せねばならぬところ、こゝで夏井川江筋の橋架設が破損したため、杜絶の態に陥つたのをみた、平市六丁目瀧口氏は資材と工費三千圓を投じて、瀧口で修理三日前から開通、市民及び関係町村民から厚い感謝を寄せられてゐる

水道料金又値上げ?

現行料金の二ヶ月の市會へ提案

薪炭の大増産戦へ

二日地方事務所が關係者評定

冬將軍を迎へるに當り郡下の薪炭指揮の樂團四十余名を聘し親善音樂會を開催する、二日地方事務所は各町村薪炭確保を各町村薪炭確保係を召集薪炭の大増産戦に臨むの打開策について協議を行ひこの結果に基いて即時一大増産戦を開始する

折角の會見も物別れ

連れたオリオン座問題

平市各職とも對策に腐心して東北地方商工局、東部石炭鑛業、各炭鑛を一丸として常務地の実現促進、排水費地調査計劃、炭鑛排水對策委員會を結成、向會長は石田東北地方商工局局長、副會長は大貫東部石炭鑛業會長が推された

折角の會見も物別れ、連れたオリオン座問題、平市各職とも對策に腐心して東北地方商工局、東部石炭鑛業、各炭鑛を一丸として常務地の実現促進、排水費地調査計劃、炭鑛排水對策委員會を結成、向會長は石田東北地方商工局局長、副會長は大貫東部石炭鑛業會長が推された

常務炭田防排水

對策委員會

常務炭田の防排水問題は、出炭場より排水七十噸といふ甚を遂げる

養蠶技術員會

地方事務所課員は蠶業五ヶ年計劃に則り十日郡内各町村蠶業技術員を召集、初年度たる本年度計畫増反百三町歩に對する蠶苗五十萬本の植付けの實施指導等について種々指示や協議を遂げる

中央會館
貴金屬 寶石 高價買入れ
時計 衣類其の他
平市南町平館西隣

齒科一般
佐治齒科醫院
主任 佐治齒科醫院
東京齒科醫學士石島公徳
電話 六五〇番

桃色の旅行靴
明日の明治節は、だれが見ても楽しい愉快な娛樂映畫のベスト
南海のポパイ
ベルクマンの
カサブランカ 5日堂々公開

新設
小型自動車修理部
三浦商會
電話 八六四番

女給さん募集
カフェー
エビス
湯本町

植林勸奨

先づ苗木を確保、戦時中の濫伐に祟られた郡下の山林の回復のため、地方事務所

小名濱の供米割當

小名濱町の本年度の供米割當は、千九百六十石と決定した、豊作の上、従來の如き机上割當を廢

市内外各職員の對抗軟式野球

市内外各職員の對抗軟式野球大會は、二日午後一時から中球場で

地代家賃の届出怠るな

地代家賃の届出怠るな、一日から實施されたが、地方事務所では届出

東京事務所 東京都芝區新橋
電話 三三三三番
電話 三三三三番
電話 三三三三番

